

ホメロス(Homer)は古代ギリシャの叙事詩「[イリアス](#)」と「[オデュッセイア](#)」の作者と考えられている人物である。彼は盲目の歌人で、スミュルナのキオス島かイオニアの出身だったとされる。

解説

- [イリアス](#)と[オデュッセイア](#)は紀元前8世紀ごろ、文盲の[アオイドス](#)（歌人）による口頭の語りで作られたものだと考えられている。その群を抜いた才能や、オデュッセイアの内容が意識的にイリアスを補っているという事実によって、両方の詩は一人の作者によるものと推定されている。
- ホメロスという人物についてはっきりしたことは分かっておらず、そういう人物が存在していたという証拠もない。多くの古典ギリシャの詩文がホメロスについて言及しているが、記述は各人各様であり、身元を特定する根拠にならない。
- ハドリアヌス帝が[デルフォイ](#)の神官にホメロスは実際は何者かとたずねた時、神官は、「彼は[イタカ](#)の人間で、[エピカステ](#)と[テレマコス](#)の息子だ」と答えた。
- オデュッセイア作中の、作者の自画像と考えられる楽人[デモドコス](#)の描写にもとづいて、[ホメロス](#)は後世のギリシャ人におそらく盲目であっただろうといわれた。